

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	特定疾患治療研究費補助金	担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和47年度	担当課室	疾病対策課	疾病対策課 山本 尚子			
会計区分	一般会計	施策名	難病対策、ハンセン病対策、エイズ対策を推進する IV-3-2				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計画、 通知等	「特定疾患治療研究事業について」				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	原因が不明であって、治療法が確立していない、いわゆる難病のうち、特定疾患については、治療が極めて困難であり、かつ、その医療費も高額であるので、特定疾患治療研究事業を推進することにより、特定疾患に関する医療の確立、普及を図るとともに、患者の医療費の負担軽減を図る。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	①特定疾患治療研究事業【補助率 1/2、10/10】 ②在宅人工呼吸器使用特定疾患患者訪問看護治療研究事業【補助率 1/2】 ③スモン患者に対するはり等の治療研究事業【補助率 10/10】 ④先天性血液凝固因子障害治療研究事業【補助率 1/2】 (事業概要は別紙参照)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	26,063	27,544	28,044	35,000	35,000
		補正予算	2,776				
		繰越し等					
		計	28,839	27,544	28,044	35,000	35,000
		執行額	28,569	28,839	27,544		
	執行率 (%)	100%	100%	100%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は難病の治療費について、社会保険各法の規定に基づく患者自己負担の全部又は一部(所得に応じて7段階)を補助すること事業であることから、成果目標の設定は困難である。	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	特定疾患治療研究事業の受給者証交付件数	活動実績 (当初見込み)	件	679,335	706,720	集計中	—
					647,604	(679,335)	(706,720)
単位当たり コスト	38,974(円/件)	算出根拠	単位あたりコストの算出において、Xは平成22年度予算額(27,544百万円)、Yは上記活動指標の平成22年度数(706,720件)とする。				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	厚生労働科学研究費 補助金	35,000	35,000				
	計	35,000	35,000				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	難病患者の医療費負担の軽減を図る事業であり、優先度は高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	難病患者の医療費負担の軽減を図る事業であり、国が確実に実施する必要がある。
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	－
資金の流れ・用途・費目・使	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	－
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	医療費適正化を実施しているところであり、水準は妥当である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	所得に応じた自己負担額を設定しており、妥当である。
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	－
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	交付申請の審査をしており、必要なものに限定した用途となっている。
活動実績・成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	－
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	概ね見合ったものになっている。
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	－
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	－
点検結果	本事業については、数年にわたり都道府県の超過負担が生じており、その改善に向けて、安定的な財源の確保が必要である。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	特定疾患治療研究費補助金については、事業の必要性、執行の観点からの評価としては概ね妥当であるが、引き続き適切な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	－		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0163	平成23年行政事業レビュー	0140

※平成22年度実績を記入

厚生労働省
27,544百万円

交付申請書の内容審査、交付決定、補助事業者の指導監査



【補助】

A 都道府県(47) 27,544百万円

- ・特定疾患の医療費補助の実施
- ・在宅人工呼吸器使用特定疾患患者に対する訪問看護に対する補助の実施
- ・スモン患者に対するはり・きゅう・マッサージに対する補助の実施
- ・先天性血液凝固因子障害の医療費補助の実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.東京都			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
医療費	特定疾患患者の入院費、食事療養費、通院費、訪問看護費	2,459			
雑役務費	特定疾患協議会等開催に関する費用	3			
計		2,462	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	特定疾患の医療費補助等の実施。	2,462		
2	大阪府	特定疾患の医療費補助等の実施。	1,979		
3	北海道	特定疾患の医療費補助等の実施。	1,600		
4	神奈川県	特定疾患の医療費補助等の実施。	1,576		
5	福岡県	特定疾患の医療費補助等の実施。	1,288		
6	埼玉県	特定疾患の医療費補助等の実施。	1,285		
7	千葉県	特定疾患の医療費補助等の実施。	1,267		
8	兵庫県	特定疾患の医療費補助等の実施。	1,240		
9	愛知県	特定疾患の医療費補助等の実施。	1,089		
10	京都府	特定疾患の医療費補助等の実施。	678		